

可決

指定管理者の指定に関し議決を求めることについて

要旨・・・花巻市定住交流センター(なはんプラザ)、花巻市花巻駅前多目的広場、花巻市花巻駅南駐車場の3施設を2年間、株式会社元來社へ。花巻市営住宅等を5年間、株式会社寿広へ。石鳥谷総合物産センター(酒匠館、りんどう亭)を1年間、株式会社石鳥谷観光物産へそれぞれ指定管理者として指定するもの。

質疑

- 質問・・・指定期間について、花巻駅前の3つの施設を元來社に2年間、ほかの施設は5年間ということだが、2年間とした理由を伺う。
○質問・・・市の指定管理の指針では5年間が一般的な例であるが、駅周辺の3つの施設を2年間としたのはJR花巻駅東西自由通路(駅橋上化)を整備するということが認められた場合、JR花巻駅東西自由通路(駅橋上化)を建設するに当たって3つの施設への影響が考えられることから、まずは2年間としたもの。

可決

令和3年度花巻市一般会計補正予算(第12号)

要旨・・・歳入歳出予算にそれぞれ6,066万4千円を追加し歳入歳出総額を526億5,873万円とするもの。職員人件費の整理のほか、中小企業持続支援事業、小・中学校教育環境充実事業等に係る歳入歳出予算の補正など。

質疑

- 質問・・・振興センター等整備事業費の811万4千円の内容について伺う。
○質問・・・宮野目振興センターで消防設備点検の際、これまで認識していた構造と違うのではないかとこの疑義が生じたことから確認したところ、同センターは昭和53年に鉄筋コンクリート造りで整備した建物で、翌年に一部増築した部分が木造と認識されていなかった。木造の場合、新たな消防設備が必要となることから今回措置したもの。
○質問・・・世界規模で半導体が不足していることにより、製造業の方から、「注文は受けるが部品が足りなくて作れない。作っても売れない状況で厳しい」という声を聞く。国、県、市で無担保、無利子の融資などがあつたと思うが、今回の補正で検討したかどうか伺う。
○質問・・・コロナ禍で主に国、県で無利子などの融資が継続して行われている。原油価格高騰に起因する融資もある。県の融資制度に対し、市で利子補給等も行っている。令和3年3月に制度を創設したが、市単独の制度よりも事業者の負担が少ない県の制度を利用している。この制度は借り入れが好調で補正予算措置も行っている。

意見書を提出

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度の創設を求める意見書

加齢性難聴は、コミュニケーションを困難にするなど日常生活を不便にし、生活の質を落とす大きな原因となるばかりか、最近では鬱病や認知症の危険因子になることも指摘されています。この聞こえの悪さを克服し、音や言葉を聞き取れるようにし、日常生活を快適に過ごせるよう補完するのが補聴器です。
日本では両耳70デシベル以上の高度・重度難聴者に対し補装具費支給制度により負担が軽減されているものの、その対象者はわずかであり、ほとんどの人が全額自己負担で購入していることから、特に低所得の高齢者に対する配慮が求められます。
補聴器がさらに普及することにより、高齢になっても生活の質を落とさず、心身ともに健やかに過ごすことができれば、認知症の予防、健康寿命の延伸、ひいては医療費の抑制にもつながります。よって、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度を創設するよう要望します。

※意見書全文は市ホームページに掲載しています

賛否が分かれた陳情の審議結果

Table with 2 columns: 陳情6, 項目1, 項目2. Content: 社会教育主事の設置及び生涯学習部の教育委員会事務局への移行を求めることについて (以下の2項目について項目ごとに採決)

Table with columns: 会派名, 議員名, 審議結果. Rows for 陳情6 項目1 and 項目2.

○は賛成、●は反対、欠は欠席。議長は表決に加わりません。